

地域と共に歩む広報誌

なんぷう



2023年3月発行
第31号

令和4年度宮崎県総合防災訓練および院内災害訓練



日本医療機能評価機構（一般病院）認定病院

県立日南病院

〒887-0013 宮崎県日南市木山1丁目9番5号

TEL 0987-23-3111

FAX 0987-23-5142

<https://www.nichinan-kenbyo.jp>

Eメール: nichinan-hp@pref.miyazaki.lg.jp

当院の基本理念及び基本方針

基本理念

- 患者本位の病院
- 高度で良質な医療を目指す病院
- 地域社会に貢献する病院

基本方針

- 患者の人権を尊重し、安全で信頼・満足していただける医療の提供に努めます。
- 常に研鑽に努め、医療水準の向上に努めます。
- 医療の面から、住民が安心して暮らせる社会づくりに貢献します。

特集



令和4年度宮崎県総合防災訓練および院内災害訓練

令和4年11月6日(日)に日南・串間地域(メイン会場:日南市大藤河川公園)で県総合防災訓練が開催されました。災害拠点病院である当院も災害時医療活動訓練の一部として参加し、災害発生時における関係機関との協力体制などについて確認を行いました。

また、同時に当院職員を対象とした災害訓練を開催し、災害時の傷病者受け入れの方法や記録の仕方などの確認を行いました。

訓練の目的

- 1 災害発生時における多数傷病者の受け入れ(入院)までを知る。
- 2 地域・広域医療搬送のための流れを知る。
- 3 災害時の記録(広域搬送カルテ)の方法を知る。
- 4 災害拠点病院として災害派遣医療チーム DMAT (Disaster Medical Assistance Team) の受け入れを知る。

主な訓練スケジュール

- 8:40 オリエンテーション、座学
- 9:50 訓練開始・災害対策本部の立ち上げ・各エリア(現場指揮所、トリアージ、赤・黄・緑・黒エリア)へ移動
- 10:00 DMAT、災害派遣精神医療チーム DPAT (Disaster Psychiatric Assistance Team) が到着
- 12:00 訓練終了、各エリアでの反省会
- 12:10 全体反省会



←災害対策本部・現場指揮所の様子。

今回の訓練では、当院職員に加え、患者役のボランティアとして日南学園高等学校看護専攻科の学生や県立宮崎病院・県立延岡病院・小林市立病院・都城市郡医師会病院のDMAT隊員や県障がい福祉課などから構成されるDPAT隊員などが参加し、合わせて約150名が訓練に臨みました。

トリアージエリア・黄色エリアの様子。→

トリアージとは、傷病の緊急度や重症度を迅速に評価し、治療や搬送の優先順位決定を行うことです。

緊急度の高い順に、赤・黄・緑・黒(治療対象外)があります。

多くのけが人が病院に集中する災害時には、限られた人的・物的資源を最大限に活用して、可能な限り多くの傷病者の治療にあたるのが重要です。



↑DMATやDPATが活動している様子。

DMATは、大規模災害などが発生した際に、被災地の病院機能を維持・拡充するために、病院の指揮下に入り、病院の支援などを行います。

DMAT(DPAT)は、医師(精神科医師)・看護師・業務調整員で1つのチームを構成するよ。DMATは、急性期(おおむね48時間以内)の「救命医療」、DPATは「精神医療」が主な活動だよ。





当院へ入院される際には、使用中的お薬のみを整理してお持ちくださるようお願いいたします。



お薬整理に関して、薬剤部では患者さまへ入院前に説明を行っています。
 当院へ入院される際には、患者さまが使用中的お薬をどのように服用されているのかや、どの医療機関から処方された薬なのかなど、確認させていただいております。
 また、入院後も継続して服用が必要な薬を、当院にて準備できない場合がございます。
 そのため、**現在服用中および使用中的お薬のみを、整理してお持ちください。**
 患者さまご本人がお薬整理できないなどの場合は、かかりつけの調剤薬局でも整理していただくことが可能です。



お薬整理についての説明の様子（お薬相談コーナーにて）



お薬手帳を忘れずに!



新規ペースメーカー埋め込み患者さまの遠隔モニタリングをはじめました。

ペースメーカーとは・・・

心臓の徐脈性不整脈（病気により脈拍がゆっくりになる病気）を監視して、脈が遅くなりすぎた際に心臓の代わりに電気による刺激を与えることで、**心臓のポンプ機能を補正・補完する装置**です。（写真上）



※写真提供 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

心臓ペースメーカーを植え込み後の患者さまは半年に1回、外来にてペースメーカー点検を行っていました。

しかし、半年の間に不整脈やペースメーカーの機能異常などが起こっていた場合の把握ができないというデメリットがありました。



その欠点を補う機能が**遠隔モニタリング**です。

遠隔モニタリングを行うために、ご自宅に専用の**中継機器**（写真下）を設置していただきます。
 この機器を通して心臓ペースメーカーの情報を、外来受診すること無く、当院で確認することが可能となります。



※写真提供 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

また、遠隔モニタリングを行っている方は、医師の許可があれば、半年に1回の受診を1年に1回に延ばすこともできるようになります。



※遠隔モニタリングは救急対応を目的とするものではありません。緊急時、症状悪化時は必ず当院にご連絡ください。

